

各委員からの御意見及びそれに対する考え方について

【資料 8】「第十五次中間とりまとめ（案）」への各委員・オブザーバー御意見

委員からの御意見

なし

オブザーバーからの御意見

【斎藤オブザーバー（株式会社エネット）】

（該当箇所）

p10-11 2027 年度実需給向けメインオークションの開催と結果を踏まえた対応等

（御意見）

2027 年度実需給向けメインオークションの約定価格が、過去 2 回に比べて高い水準となったことについて、目標調達量の増加が影響したことが考えられる、との記載がある。この点について、容量拠出金の負担が、最終的に需要家や事業者に影響を及ぼすことも考えると、必要供給力や目標調達量の設定に際しては、目標調達量が過剰とならないよう十分な精査を求める声があったと認識している。

この点、本文または欄外に注釈として記載いただくことを検討いただきたい。

（回答）

本御意見、及び制度検討作業部会における御意見を踏まえ、以下のとおり注釈を追記いたします。

「第 88 回の本作業部会において、安定供給を担保することは重要である一方、容量拠出金の負担が最終的には需要家や事業者に影響を及ぼすことを踏まえ、必要供給力や目標調達量の設定が過剰とならないよう十分な精査を求める旨の意見があった。」

※その他の委員・オブザーバーにおいては、事務局案について、異論なしの旨、御回答いただいております。

<事務局の考え方>

委員及びオブザーバーの御意見について、事務局で精査した上で、【資料 8】第十五次中間とりまとめ（案）のとおりに反映しました。